



8月号



令和4年8月1日発行 No.362  
(公財)仙台ひと・まち交流財団  
仙台市沖野市民センター



〒984-0831 仙台市若林区沖野字高野南8-9  
電話 282-4571 / FAX 285-4681  
https://www.sendai-shimincenter.jp

### 講座ご案内

連携 沖父ちゃん会・親児の会  
集まれ！わんぱくキッズ～お父さん出番です～第2弾

#### 移動天文台ベガ号がやってくる！

日時 9月16日(金)

18:30~20:30

(受付 18:00~ 沖野東小学校体育館)

会場 沖野東小学校 駐車場

雨天時や星が見えない時は体育館で星のお話

対象 小学生と保護者 25組【先着】

申込 8月6日(土) 10:00~ お電話で  
持ち物 上履き、虫よけ(推奨)

#### ひと★まち 児童館子育てセミナー

##### 【申込方法】

8月15日(月) 9時から児童館ウェブサイトの申込  
入力フォームで受付開始 **先着順**

##### 【内容】

- 9/10(土) 「家庭でできるカード遊び」
- 9/24(土) 「家族で体験！あやとり&お手玉」
- 10/1(土) 「親子で運動遊び！」
- 10/15(土) 「子どもと言葉を育てる」
- 10/22(土) 「子どもの発達と子育て環境」

※開催時間はいずれも 13:30-15:00

※開催場所・講師・参加定員などの詳細は、ウェブ  
サイトよりご確認ください。

### 講座レポート

集まれ！わんぱくキッズ～お父さん出番です～

#### 第1弾スポーツ鬼ごっこ大会！

沖野東小学校、沖野小学校両おやじの会と連携  
して子ども向け事業を行う講座です。第1弾とし  
て、前回好評だったスポーツ鬼ごっこを6月25  
日に行いました。講師は仙台スポーツ鬼ごっこ愛  
好会の松井先生、日浦先生、ジュニアリーダー、  
沖野中学校サッカー部の皆さんにも協力してい  
たきました。

ルール説明、ウォーミングアップ後は5班に分  
かれて、早速プレー開始！スポーツ鬼ごっこは  
「チーム戦で宝を取り合う」ものですが、参加者  
はすぐに馴染み、総勢31名が楽しみました。

アンケートにも「また  
やって欲しい」との声が  
多くありました。当日は  
大変な暑さでしたが、暑  
さを吹き飛ばす面白さ  
だったようです。



#### 折り紙ボランティア養成講座 伝えよう仙台伝統七夕

今年も七夕の時期になりました。折り紙ボラン  
ティア養成講座受講生の皆さんが7月13日に沖  
野小学校で、14日に沖野東小学校で七夕飾りを  
子ども達と一緒に飾り付けました。

当日はお話ボランティア「きらら」さんによる  
紙芝居からスタート。七夕伝説を学んだ後は飾り  
付けです。願いを書いた短冊、事前に折り紙ボラ  
ンティアさんから指導を受けて作った飾りなど、  
笹竹に飾り付けました。笹竹は沖野地区老人クラ  
ブ連合会さんが用意  
したものです。

ご協力いただいた  
皆さん、ありがとう  
ございました。みん  
なの願いが叶います  
ように。



回 覧									

## ジュニアリーダー 頑張ってます！

ジュニアリーダーとは、市教育委員会が支援するボランティア団体です。沖野市民センターにも「ピ野沖ヲ（ピノキオ）」というサークルがあり、現在中学2年生2名が所属中です。少ない人数でも、地域のイベントや市民活動発表会でのボランティア等、熱心に活動中です。

活動を通して「中高生の友達が増えた」、  
「人前で堂々と話せるようになった」、  
「多くの人の意見を聞き、考えの幅が広がった」、  
「様々なことに対して積極的になった」、  
「目指すべき人に出会えた」、  
「自分の殻を破れた」…これらはすべて、ジュニアリーダーの生の声です。

中高生の皆さん、ぜひジュニアリーダーとして活動しませんか？地域の方々も、ぜひ周りの子どもたちにお声がけください！また、各種イベントでのジュニアリーダーの活用依頼にも随時応じております。ぜひ、沖野市民センターへお問い合わせください！



## ～地域情報コーナー～

# 沖野小親児の会 会員募集



## 沖野小学校、親児の会で 子供たちと はしゃぎませんか！

今現在、親児の会はメンバー1名で何とか活動をつないでいます。地域で開催しているイベントに参加し、お手伝いというより子供たちと一緒に遊んでおります。毎回の参加でなくとも大丈夫！出来る時に出来る人が、がモットーです。興味がありましたらご連絡ください♪

沖野小学校 親児の会

代表 大山彰弘 090-7067-5126 まで

## す て 沼

(前 略)

沖野が耕地整理事業を行う以前のこと、七丁目東端清凉寺の東方に三百坪程の沼があった。水藻が浮いており、夏になれば蓮の花が美しく浮いていた。

この沼は絶好の釣場だったのである。特になまずがよく釣れた。蛙を餌にして水面をぴょんぴょん跳ばせる「チャップン釣」と称する方法で釣りあげるのである。跳びはねる蛙に、大きななまずが水中から頭を出してパクリと喰らいつく、間髪を入れずに棹を張り上げる。それはそれは豪快な気分であった。

この沼にまつわる話。

『昔、秋も深まった田んぼには刈りあげられた稲株だけが、より一層淋しさをかもし出していたころ、一人の老婆が病弱を苦し、前途に希望もない世をはかなんで身を捨てたと』。

以来この沼をすて沼と呼ぶようになったという。

今は沼のあとかたもない。初夏の心よい風が青田の上を流れてくる。

(後 略)

